

# 景況感、2期ぶりに改善し、来期も改善の見通し

香川県内企業経営動向調査（平成29年6月実施）

## 概要

**概況** 今期（平成29年4～6月期）の香川県内企業の業況判断指数（BSI）は、季節的な需要の増加などを背景に2期ぶりに上昇した。製造業で2期ぶり、非製造業では3期ぶりの上昇となった。来期（29年7～9月期）も、原材料価格や人件費等のコスト上昇懸念はあるものの、季節的な需要の増加などにより製造業、非製造業とも、指数は2期連続で上昇する見通しである。

**今期（平成29年4～6月期）**のBSIは、△10.2となり、前期（29年1～3月期）実績の△24.5から14.3ポイント上昇した。前年同期（28年4～6月期）実績の△20.6に対しては10.4ポイント上回る水準である。項目別の判断指数をみると、全9項目のうち、前期と比較して上昇した指数は、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、雇用、採算の8項目。低下した指数は、設備投資の1項目である。

**来期（平成29年7～9月期）**のBSIの見通しは、△8.4となり、今期（29年4～6月期）実績の△10.2から1.8ポイント上昇する見通しである。前年同期（28年7～9月期）実績の△11.8に対しては3.4ポイント上回る水準である。項目別の判断指数をみると、全9項目のうち、今期と比較して上昇する見通しの指数は、受注高、売上高、在庫高、銀行借入、設備投資の5項目。低下する見通しの指数は、資金繰り、雇用の2項目。また、生産高、採算の2項目は不変の見通しとなっている。

期	( )内は前回調査時の見通し					前期	今期	来期
	平成27年 10～12月	平成28年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成29年 1～3月	4～6月	7～9月
製造業	( △ 2.6 )	( △ 25.6 )	( △ 15.0 )	( △ 9.8 )	( △ 5.1 )	( △ 20.0 )	( △ 20.5 )	( △ 15.1 )
	<b>△ 1.2</b>	<b>△ 36.3</b>	<b>△ 25.6</b>	<b>△ 14.1</b>	<b>△ 7.5</b>	<b>△ 30.1</b>	<b>△ 17.4</b>	
非製造業	( △ 4.8 )	( △ 15.0 )	( △ 12.5 )	( △ 12.8 )	( △ 4.8 )	( △ 18.5 )	( △ 7.9 )	( △ 1.3 )
	<b>△ 5.0</b>	<b>△ 16.3</b>	<b>△ 15.4</b>	<b>△ 9.6</b>	<b>△ 11.1</b>	<b>△ 18.4</b>	<b>△ 2.5</b>	
全産業	( △ 1.3 )	( △ 20.4 )	( △ 13.8 )	( △ 11.3 )	( △ 5.0 )	( △ 19.3 )	( △ 14.5 )	( △ 8.4 )
	<b>△ 3.1</b>	<b>△ 26.3</b>	<b>△ 20.6</b>	<b>△ 11.8</b>	<b>△ 9.3</b>	<b>△ 24.5</b>	<b>△ 10.2</b>	
前年同期比(差異)	7.2	△ 6.8	△ 5.6	△ 1.1	△ 6.2	1.8	10.4	( △ 3.4 )

BSI：Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したものである。次の算式により求める。

$$BSI = X - Y$$

X：「好転（増加）」と回答した企業の割合（百分率）

Y：「悪化（減少）」と回答した企業の割合（百分率）

※回答は、①好転（増加）、②不変、③悪化（減少）から1つ選択

(注)本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

・前期：平成29年1～3月、今期：平成29年4～6月、来期：平成29年7～9月

・Ⅰ期：1～3月、Ⅱ期：4～6月、Ⅲ期：7～9月、Ⅳ期：10～12月

# I. 項目別 BSI

## 1. 業界業況判断 BSI

### 2 期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

#### <今期実績(平成 29 年 4~6 月期)>

今期の業界業況判断 BSI は、 $\Delta 10.2$  で、前期 (29 年 1~3 月期) 実績の  $\Delta 24.5$  から 14.3 ポイント上昇した。指数の上昇は 2 期ぶりである。前年同期 (28 年 4~6 月期) 実績の  $\Delta 20.6$  に対しては 10.4 ポイント上回る水準である。

産業別では製造業が  $\Delta 17.4$  となり、前期実績の  $\Delta 30.1$  から 12.7 ポイントの上昇。製造業全 8 業種のうち、食料品、繊維製品、木材・木製品、機械器具、その他製造業の 5 業種で指数が上昇した。

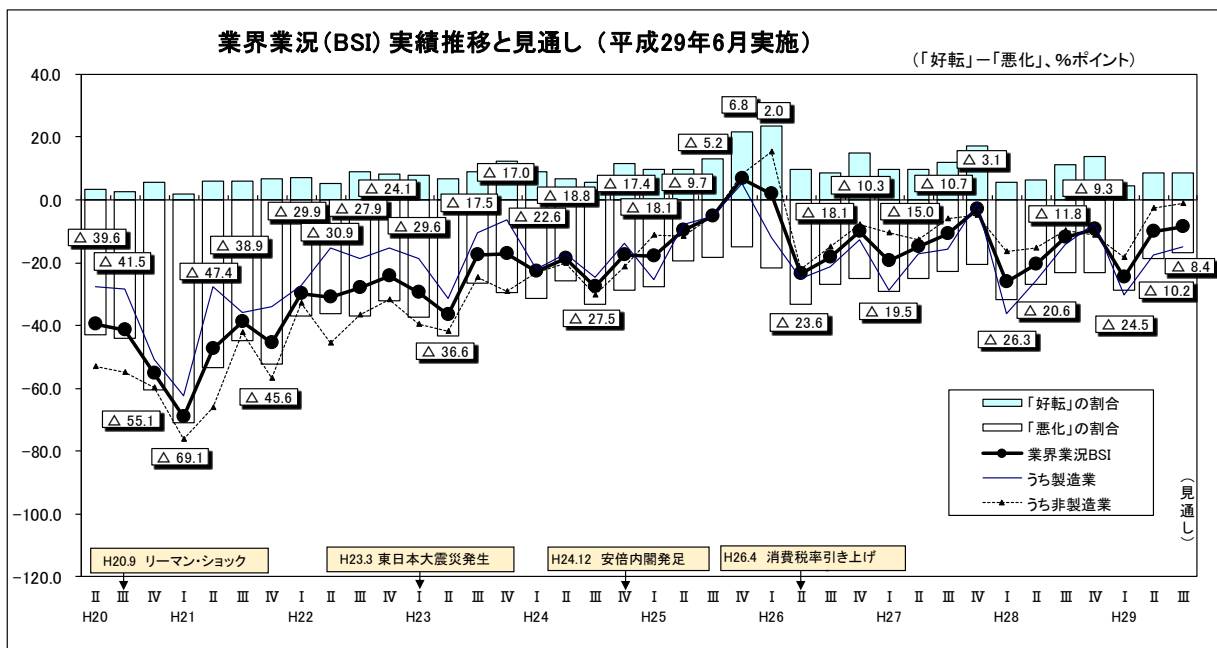
非製造業は  $\Delta 2.5$  となり、前期実績の  $\Delta 18.4$  から 15.9 ポイント上昇した。非製造業全 5 業種のうち、卸売業、小売業、運輸業、サービス業その他の 4 業種で指数が上昇した。

#### <来期見通し(平成 29 年 7~9 月期)>

来期の業界業況判断見通し BSI は、 $\Delta 8.4$  で、今期 (29 年 4~6 月期) 実績の  $\Delta 10.2$  より 1.8 ポイント上昇した。前年同期 (28 年 7~9 月期) 実績の  $\Delta 11.8$  に対しては 3.4 ポイント上回る見通しである。

産業別では製造業が  $\Delta 15.1$  となり、今期実績の  $\Delta 17.4$  から 2.3 ポイントの上昇。製造業全 8 業種のうち、食料品、繊維製品、木材・木製品、金属製品の 4 業種で指数が上昇の見通しである。

非製造業は  $\Delta 1.3$  となり、今期実績の  $\Delta 2.5$  から 1.2 ポイント上昇し、非製造業全 5 業種のうち、小売業、サービス業その他の 2 業種で指数が上昇する見通しである。



## ■業界業況判断指数（各期比較）

業種	実績値					増減			
	今期の前年同期	来期の前年同期	前期	今期	来期	今期(H29.4-6月)		来期(H29.7-9月)	
	(H28.4-6月)	(H28.7-9月)	(H29.1-3月)	(H29.4-6月)	(H29.7-9月)	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
	①	②	③	④	⑤	④-③	④-①	⑤-④	⑤-②
<b>製造業</b>	<b>△ 25.6</b>	<b>△ 14.1</b>	<b>△ 30.1</b>	<b>△ 17.4</b>	<b>△ 15.1</b>	<b>12.7</b>	<b>8.2</b>	<b>2.3</b>	<b>△ 1.0</b>
食料品	0.0	△ 6.7	△ 47.1	△ 27.8	△ 16.7	19.3	△ 27.8	11.1	△ 10.0
繊維製品	△ 50.0	△ 30.0	△ 63.6	△ 40.0	△ 30.0	23.6	10.0	10.0	0.0
木材・木製品	△ 42.9	16.7	△ 42.9	△ 28.6	△ 14.3	14.3	14.3	14.3	△ 31.0
化学工業・石油製品	△ 28.6	△ 16.7	0.0	△ 14.3	△ 14.3	△ 14.3	14.3	0.0	2.4
金属製品	△ 50.0	△ 20.0	0.0	△ 10.0	0.0	△ 10.0	40.0	10.0	20.0
機械器具	0.0	△ 18.2	△ 18.2	9.1	△ 9.1	27.3	9.1	△ 18.2	9.1
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 20.0
その他	△ 35.3	△ 13.3	△ 25.0	△ 5.6	△ 11.1	19.4	29.7	△ 5.5	2.2
<b>非製造業</b>	<b>△ 15.4</b>	<b>△ 9.6</b>	<b>△ 18.4</b>	<b>△ 2.5</b>	<b>△ 1.3</b>	<b>15.9</b>	<b>12.9</b>	<b>1.2</b>	<b>8.3</b>
建設業	△ 7.1	21.4	14.3	△ 7.7	△ 7.7	△ 22.0	△ 0.6	0.0	△ 29.1
卸売業	△ 23.5	△ 33.3	△ 22.2	△ 5.3	△ 10.5	16.9	18.2	△ 5.2	22.8
小売業	△ 16.7	0.0	△ 16.7	10.0	15.0	26.7	26.7	5.0	15.0
運輸業	△ 33.3	△ 22.2	△ 50.0	△ 22.2	△ 22.2	27.8	11.1	0.0	0.0
サービス業 その他	△ 5.0	△ 15.8	△ 27.8	0.0	5.3	27.8	5.0	5.3	21.1
<b>合計</b>	<b>△ 20.6</b>	<b>△ 11.8</b>	<b>△ 24.5</b>	<b>△ 10.2</b>	<b>△ 8.4</b>	<b>14.3</b>	<b>10.4</b>	<b>1.8</b>	<b>3.4</b>

## 2. 受注高判断 BSI

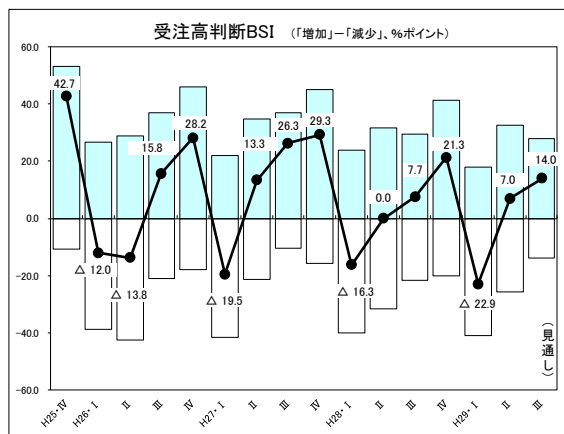
2期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成29年4～6月期)＞

今期の受注高 BSI は、7.0 で、前期実績の△22.9 を 29.9 ポイント上回った。前年同期実績の 0.0 に対しては 7.0 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成29年7～9月期)＞

来期の受注高見通し BSI は、14.0 で、今期実績の 7.0 から 7.0 ポイント上昇の見通しで、前年同期実績の 7.7 に対しては 6.3 ポイント上回る水準である。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	29.9	7.0	7.0	6.3
食料品	80.4	△ 10.5	△ 27.7	△ 7.7
繊維製品	10.0	△ 2.5	10.0	20.0
木材・木製品	0.0	△ 14.3	28.6	△ 35.7
化学工業・石油製品	19.0	△ 57.2	0.0	35.7
金属製品	10.0	70.0	30.0	50.0
機械器具	45.5	34.9	△ 9.1	△ 27.3
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 40.0	40.0	△ 20.0
その他	25.0	17.6	22.2	22.2
<b>合計</b>	<b>29.9</b>	<b>7.0</b>	<b>7.0</b>	<b>6.3</b>

(注)非製造業は調査対象外

### 3. 生産高判断 BSI

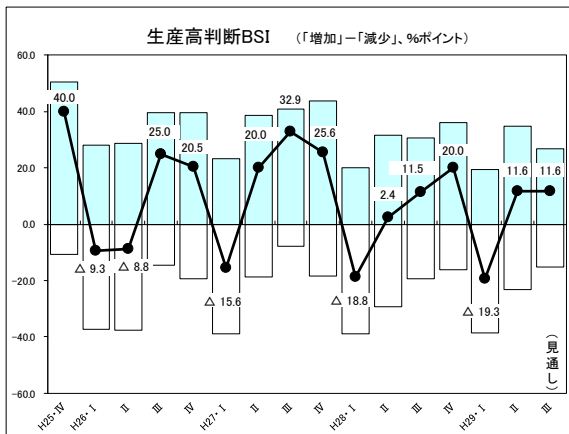
2期ぶりに上昇し、来期は不変の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の生産高 BSI は、11.6 で、前期実績の△19.3 を 30.9 ポイント上回った。前年同期実績の 2.4 に対しては 9.2 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の生産高見通し BSI は、11.6 で、今期実績の 11.6 から不変の見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	30.9	9.2	0.0	0.1
食料品	103.2	6.9	△ 55.5	△ 44.4
繊維製品	9.1	12.5	20.0	0.0
木材・木製品	14.3	△ 42.9	14.3	△ 35.7
化学工業・石油製品	33.3	△ 42.9	0.0	33.3
金属製品	0.0	50.0	50.0	70.0
機械器具	9.1	35.6	△ 36.4	△ 36.4
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	40.0	△ 20.0
その他	24.4	17.4	22.2	34.5
合計	30.9	9.2	0.0	0.1

(注)非製造業は調査対象外

#### 【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の1位は「季節的な需要増加」の78.6%、次いで「販売力の強化」、「景気動向」の8.9%、「その他」の3.6%となっている。「減少要因」の1位は「季節的な需要減少」の73.6%、次いで「景気動向」、「その他」の9.4%、「販売力の低下」の5.7%、「生産能力の低下」の1.9%となっている。

### 4. 売上高判断 BSI

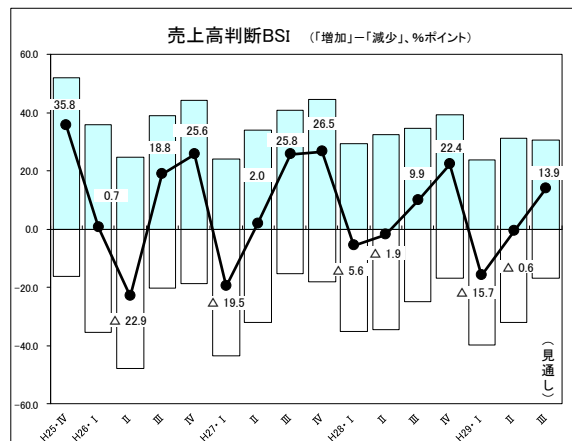
2期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の売上高 BSI は、製造業 4.7、非製造業△6.3、全産業で△0.6 となり、前期実績を 15.1 ポイント上回った。前年同期実績に対しては 1.3 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の売上高見通し BSI は、製造業 15.1、非製造業 12.5、全産業で 13.9 となり、今期実績の△0.6 を 14.5 ポイント上回り、指数自体も 3 期ぶりにマイナス圏を脱する見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	30.0	4.7	10.4	4.8
食料品	109.1	△ 5.6	△ 27.7	△ 16.6
繊維製品	26.4	△ 22.5	40.0	0.0
木材・木製品	14.3	0.0	28.6	△ 35.7
化学工業・石油製品	19.0	△ 57.2	0.0	35.7
金属製品	0.0	60.0	40.0	70.0
機械器具	△ 18.2	25.0	0.0	△ 27.3
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 40.0	40.0	0.0
その他	25.0	17.6	11.1	17.8
非製造業	△ 1.0	△ 2.5	18.8	2.9
建設業	△ 74.2	△ 17.1	61.6	1.7
卸売業	48.9	38.7	△ 10.6	49.4
小売業	△ 25.0	△ 25.0	40.0	△ 6.7
運輸業	13.9	22.2	22.2	△ 11.1
サービス業 その他	21.6	△ 19.5	△ 5.2	△ 21.0
合計	15.1	1.3	14.5	4.0

## 5. 在庫高判断 BSI

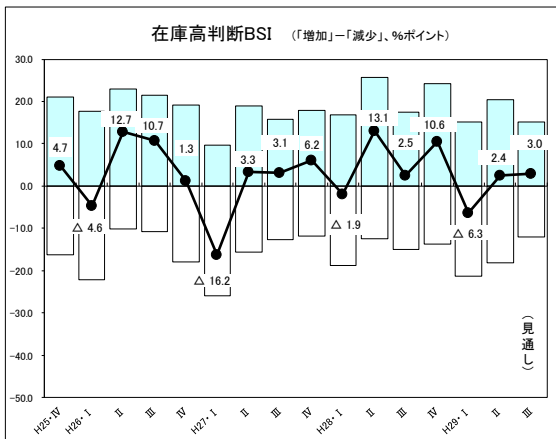
2期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の在庫高 BSI は、製造業が 3.5、非製造業が 1.3、全産業では 2.4 となり、前期実績の△6.3 を 8.7 ポイント上回った。前年同期実績の 13.1 に対しては、10.7 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が 2.3、非製造業が 3.8、全産業では 3.0 となり、今期実績の 2.4 を 0.6 ポイント上回り、指数自体も 2 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	10.7	△ 18.5	△ 1.2	△ 4.1
食料品	12.0	△ 36.9	△ 5.5	△ 11.1
繊維製品	29.1	△ 42.5	△ 20.0	△ 20.0
木材・木製品	△ 28.6	△ 57.2	85.7	7.1
化学工業・石油製品	0.0	0.0	0.0	16.7
金属製品	△ 10.0	△ 50.0	10.0	△ 10.0
機械器具	27.3	9.1	0.0	△ 9.1
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 20.0
その他	27.8	16.0	△ 16.7	11.1
非製造業	6.6	△ 2.5	2.5	5.0
建設業	6.6	△ 0.6	7.7	14.3
卸売業	22.0	△ 0.6	△ 10.6	△ 10.9
小売業	△ 11.7	△ 11.7	5.0	23.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業 その他	11.1	0.0	10.5	△ 5.3
合計	8.7	△ 10.7	0.6	0.5

## 6. 資金繰り判断 BSI

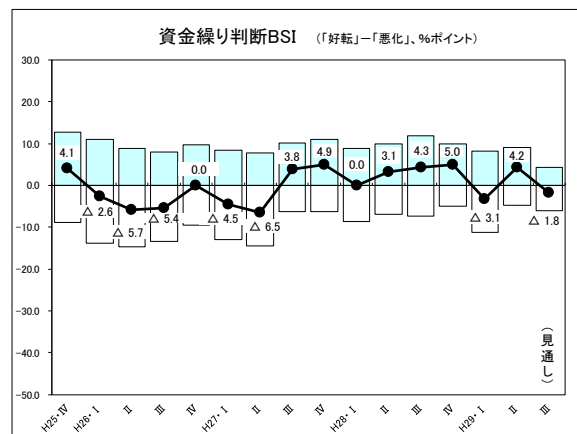
2期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の資金繰り BSI は、製造業が 2.3、非製造業が 6.3、全産業では 4.2 となり、前期実績の△3.1 を 7.3 ポイント上回った。前年同期実績の 3.1 に対しては、1.1 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が△4.7、非製造業が 1.3、全産業では△1.8 となり、今期実績の 4.2 を 6.0 ポイント下回り、指数自体も 2 期ぶりのマイナス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	10.7	△ 0.1	△ 7.0	△ 11.1
食料品	17.4	5.6	△ 16.7	△ 24.4
繊維製品	9.1	0.0	10.0	0.0
木材・木製品	42.9	14.3	△ 14.3	19.0
化学工業・石油製品	△ 31.0	△ 14.3	0.0	△ 14.3
金属製品	△ 10.0	10.0	△ 10.0	△ 10.0
機械器具	36.4	9.9	△ 9.1	△ 18.2
輸送用機械器具	40.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0
その他	△ 5.6	△ 11.5	0.0	△ 5.6
非製造業	3.7	2.5	△ 5.0	△ 1.1
建設業	△ 14.8	△ 7.7	23.1	15.4
卸売業	△ 0.6	△ 7.1	△ 15.8	△ 5.3
小売業	4.4	10.0	△ 10.0	△ 8.7
運輸業	△ 11.1	0.0	0.0	△ 22.2
サービス業 その他	26.9	10.8	△ 10.5	10.6
合計	7.3	1.1	△ 6.0	△ 6.1

## 7. 銀行借入判断 BSI

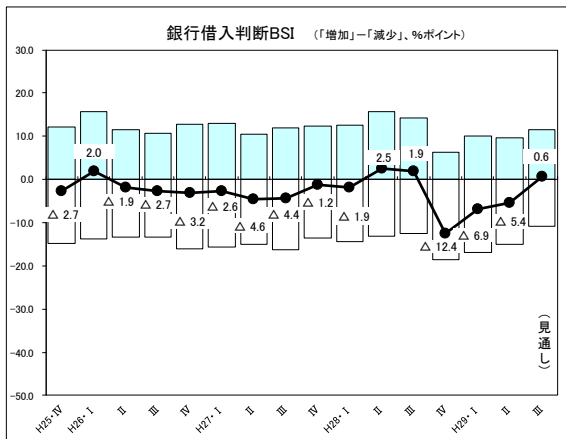
2 期連続で上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の銀行借入 BSI は、製造業が△10.5、非製造業が 0.0、全産業では△5.4 となり、前期実績の△6.9 を 1.5 ポイント上回った。前年同期実績の 2.5 に対しては 7.9 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が△3.5、非製造業が 5.0、全産業では 0.6 となり、今期実績の△5.4 を 6.0 ポイント上回り、指数自体も 4 期ぶりのプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	1.5	△ 21.5	7.0	△ 8.6
食料品	17.6	△ 18.8	11.1	4.4
繊維製品	26.4	△ 35.0	10.0	△ 10.0
木材・木製品	0.0	△ 14.3	△ 14.3	△ 45.3
化学工業・石油製品	2.4	0.0	14.3	0.0
金属製品	△ 30.0	△ 30.0	30.0	△ 10.0
機械器具	△ 18.2	△ 10.6	0.0	△ 36.4
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	0.0	0.0
その他	6.3	△ 35.3	0.0	6.7
非製造業	1.3	6.4	5.0	6.2
建設業	△ 29.7	△ 1.1	30.8	8.3
卸売業	5.6	0.0	15.8	4.7
小売業	9.4	15.0	△ 10.0	5.0
運輸業	13.9	0.0	11.1	33.3
サービス業 その他	5.6	10.0	△ 10.5	△ 5.2
合計	1.5	△ 7.9	6.0	△ 1.3

## 8. 設備投資判断 BSI

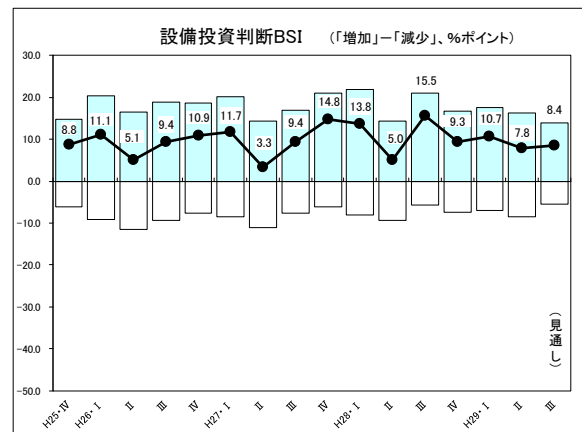
2 期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の設備投資 BSI は、製造業が 7.0、非製造業が 8.8、全産業では 7.8 となり、前期実績を 2.9 ポイント下回った。前年同期実績に対しては 2.8 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 7.0、非製造業が 10.0、全産業では 8.4 となり、今期実績の 7.8 を 0.6 ポイント上回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 1.4	4.6	0.0	△ 9.7
食料品	11.1	4.8	5.6	10.0
繊維製品	0.0	△ 12.5	0.0	0.0
木材・木製品	0.0	28.6	△ 14.3	△ 2.4
化学工業・石油製品	14.3	14.3	0.0	14.3
金属製品	△ 10.0	40.0	10.0	0.0
機械器具	△ 9.1	16.7	0.0	△ 27.3
輸送用機械器具	△ 80.0	△ 20.0	0.0	△ 80.0
その他	11.9	△ 23.8	△ 5.6	△ 20.0
非製造業	△ 4.4	1.1	1.2	△ 4.5
建設業	1.7	8.8	△ 7.7	1.1
卸売業	4.7	△ 1.8	0.0	4.7
小売業	4.4	15.6	△ 5.0	5.0
運輸業	△ 11.1	22.2	22.2	11.1
サービス業 その他	△ 22.2	△ 25.0	5.3	△ 36.8
合計	△ 2.9	2.8	0.6	△ 7.1

### 【設備投資目的】

1 位「維持更新」55.9%、2 位「新製品・新規事業」12.9%、3 位「能力増強」、「合理化・省力・省エネ・技術開発」10.8%、5 位「その他」9.7%。

## 9. 雇用状況判断 BSI

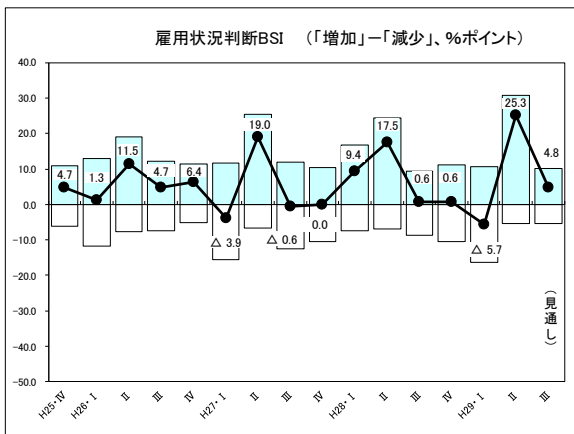
4 期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の雇用状況 BSI は、製造業が 27.9、非製造業が 22.5、全産業では 25.3 となり、前期実績の△5.7 を 31.0 ポイント上回った。前年同期実績の 17.5 に対しては 7.8 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が 10.5、非製造業が△1.3、全産業では 4.8 となり、今期実績の 25.3 を 20.5 ポイント下回るも、指数自体は 2 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	38.7	10.8	△ 17.4	7.9
食料品	51.6	15.9	△ 5.5	3.4
繊維製品	74.5	7.5	△ 20.0	10.0
木材・木製品	57.2	42.9	△ 28.6	14.3
化学工業・石油製品	31.0	△ 28.6	△ 28.6	19.0
金属製品	30.0	30.0	△ 40.0	10.0
機械器具	45.5	45.5	△ 45.5	0.0
輸送用機械器具	0.0	△ 60.0	20.0	0.0
その他	9.0	△ 1.6	0.0	7.8
非製造業	22.5	4.6	△ 23.8	△ 0.1
建設業	△ 21.4	△ 21.4	0.0	7.1
卸売業	36.3	18.0	△ 36.9	10.5
小売業	20.6	3.9	△ 20.0	△ 5.0
運輸業	1.4	0.0	△ 11.1	△ 22.2
サービス業 その他	53.5	11.8	△ 36.8	0.0
合計	31.0	7.8	△ 20.5	4.2

## 10. 採算判断 BSI

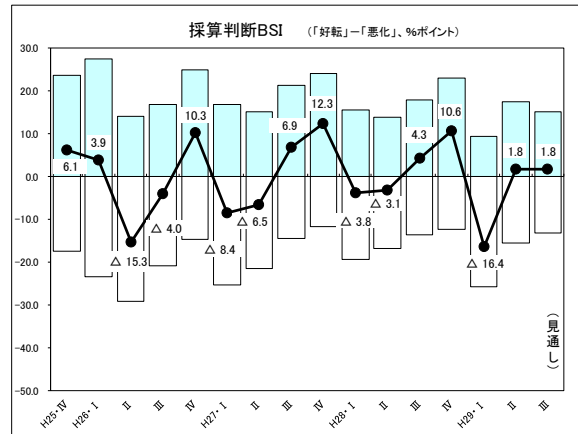
2 期ぶりに上昇し、来期は不変の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 4～6 月期)＞

今期の採算 BSI は、製造業が△1.2、非製造業が 5.0、全産業では 1.8 となり、前期実績の△16.4 を 18.2 ポイント上回った。前年同期実績の△3.1 に対しては 4.9 ポイント上回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 7～9 月期)＞

来期の採算見通し BSI は、製造業が 0.0、非製造業が 3.8、全産業では 1.8 となり、今期実績の 1.8 から不変で、指数自体は 2 期連続のプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	19.3	4.9	1.2	1.3
食料品	63.8	10.4	△ 16.7	△ 13.3
繊維製品	18.2	0.0	10.0	0.0
木材・木製品	14.3	14.3	14.3	△ 2.4
化学工業・石油製品	4.7	△ 42.9	14.3	35.7
金属製品	△ 20.0	10.0	20.0	30.0
機械器具	36.4	34.9	△ 27.3	△ 27.3
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 20.0
その他	6.9	0.3	11.2	12.3
非製造業	16.8	5.0	△ 1.2	△ 5.8
建設業	△ 7.1	0.0	7.7	△ 13.7
卸売業	32.5	15.8	△ 15.8	5.6
小売業	0.6	6.1	25.0	2.6
運輸業	△ 9.7	22.2	△ 11.1	△ 55.5
サービス業 その他	48.9	△ 8.9	△ 15.8	5.3
合計	18.2	4.9	0.0	△ 2.5

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

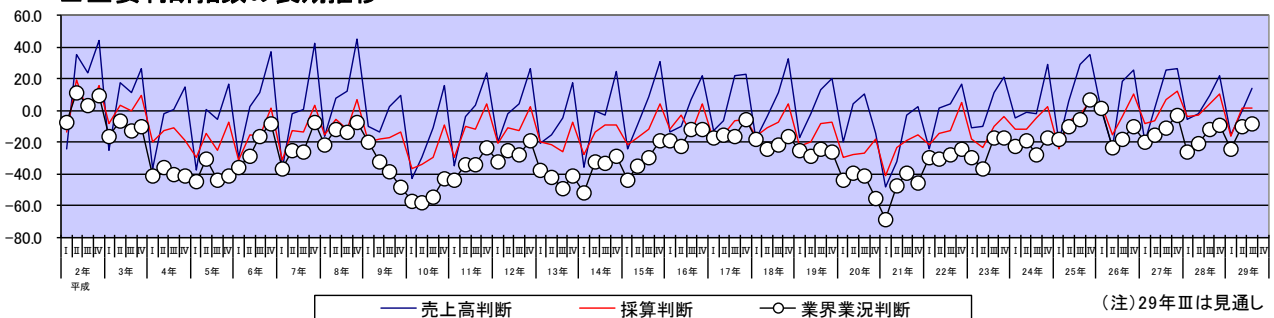
■今期(平成29年4~6月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇 用	採 算	業界業況
製造業	7.0	11.6	4.7	3.5	2.3	△ 10.5	7.0	27.9	△ 1.2	△ 17.4
1. 食料品	33.3	44.4	44.4	△ 5.6	5.6	0.0	11.1	22.2	16.7	△ 27.8
2. 繊維製品	10.0	0.0	△ 10.0	20.0	0.0	△ 10.0	0.0	20.0	0.0	△ 40.0
3. 木材・木製品	△ 14.3	0.0	△ 14.3	△ 28.6	0.0	△ 14.3	28.6	42.9	0.0	△ 28.6
4. 化学工業・石油製品	△ 14.3	0.0	△ 14.3	0.0	△ 14.3	△ 14.3	14.3	14.3	△ 28.6	△ 14.3
5. 金属製品	10.0	0.0	10.0	△ 20.0	10.0	△ 20.0	10.0	50.0	△ 10.0	△ 10.0
6. 機械器具	18.2	27.3	0.0	9.1	18.2	△ 27.3	0.0	45.5	18.2	9.1
7. 輸送用機械器具	△ 40.0	△ 40.0	△ 40.0	0.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 40.0
8. その他	0.0	5.6	0.0	27.8	△ 5.6	0.0	5.6	27.8	△ 5.6	△ 5.6
うち 紙・紙製品	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	△ 33.3	66.7	33.3	33.3	33.3
うち 窯業・土石製品	100.0	0.0	100.0	△ 50.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業	-	-	△ 6.3	1.3	6.3	0.0	8.8	22.5	5.0	△ 2.5
9. 建設業	-	-	△ 38.5	△ 7.7	△ 7.7	△ 15.4	23.1	0.0	0.0	△ 7.7
[卸・小売業 計]	-	-	△ 2.6	5.1	10.3	7.7	12.8	30.8	5.1	2.6
10. 卸売業	-	-	21.1	5.3	10.5	0.0	15.8	47.4	15.8	△ 5.3
11. 小売業	-	-	△ 25.0	5.0	10.0	15.0	10.0	15.0	△ 5.0	10.0
12. 運輸業	-	-	△ 11.1	0.0	△ 11.1	△ 11.1	△ 11.1	△ 11.1	△ 22.2	△ 22.2
13. サービス業 その他	-	-	10.5	0.0	15.8	0.0	0.0	36.8	21.1	0.0
合 計	7.0	11.6	△ 0.6	2.4	4.2	△ 5.4	7.8	25.3	1.8	△ 10.2

■来期(平成29年7~9月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇 用	採 算	業界業況
製造業	14.0	11.6	15.1	2.3	△ 4.7	△ 3.5	7.0	10.5	0.0	△ 15.1
1. 食料品	5.6	△ 11.1	16.7	△ 11.1	△ 11.1	11.1	16.7	16.7	0.0	△ 16.7
2. 繊維製品	20.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	△ 30.0
3. 木材・木製品	14.3	14.3	14.3	57.1	△ 14.3	△ 28.6	14.3	14.3	14.3	△ 14.3
4. 化学工業・石油製品	△ 14.3	0.0	△ 14.3	0.0	△ 14.3	0.0	14.3	△ 14.3	△ 14.3	△ 14.3
5. 金属製品	40.0	50.0	50.0	△ 10.0	0.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0
6. 機械器具	9.1	△ 9.1	0.0	9.1	9.1	△ 27.3	0.0	0.0	△ 9.1	△ 9.1
7. 輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 40.0	△ 40.0
8. その他	22.2	27.8	11.1	11.1	△ 5.6	0.0	0.0	27.8	5.6	△ 11.1
うち 紙・紙製品	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
うち 窯業・土石製品	△ 50.0	0.0	△ 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
非製造業	-	-	12.5	3.8	1.3	5.0	10.0	△ 1.3	3.8	△ 1.3
9. 建設業	-	-	23.1	0.0	15.4	15.4	15.4	0.0	7.7	△ 7.7
[卸・小売業 計]	-	-	12.8	2.6	△ 2.6	10.3	10.3	2.6	10.3	2.6
10. 卸売業	-	-	10.5	△ 5.3	△ 5.3	15.8	15.8	10.5	0.0	△ 10.5
11. 小売業	-	-	15.0	10.0	0.0	5.0	5.0	△ 5.0	20.0	15.0
12. 運輸業	-	-	11.1	0.0	△ 11.1	0.0	11.1	△ 22.2	△ 33.3	△ 22.2
13. サービス業 その他	-	-	5.3	10.5	5.3	△ 10.5	5.3	0.0	5.3	5.3
合 計	14.0	11.6	13.9	3.0	△ 1.8	0.6	8.4	4.8	1.8	△ 8.4

■主要判断指数の長期推移





## II. 経営上の問題点

1位は「求人難」の21.1%であった。「求人難」は9期連続の1位である。2位は「設備老朽化」の16.0%、3位は「過当競争」の14.1%、4位は「販売（受注）不振」の13.1%、5位は「製品（販売）安」の11.7%、6位は「原材料（仕入）高」の10.4%、7位は「賃金上昇」の7.7%であった。

### 「経営上の問題点」の推移

平成28年/7～9月期			平成28年/10～12月期			平成29年/1～3月期			平成29年/4～6月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	求人難	18.7%	1	求人難	20.0%	1	求人難	22.3%	1	求人難	21.1%
2	設備老朽化	15.4%	2	販売（受注）不振	15.6%	2	販売（受注）不振	14.0%	2	設備老朽化	16.0%
3	過当競争	15.1%	3	設備老朽化	15.3%	3	設備老朽化	13.8%	3	過当競争	14.1%
4	販売（受注）不振	14.8%	3	過当競争	15.3%	4	過当競争	13.2%	4	販売（受注）不振	13.1%
5	製品（販売）安	13.0%	5	製品（販売）安	12.1%	5	製品（販売）安	11.0%	5	製品（販売）安	11.7%
6	賃金上昇	8.2%	6	原材料（仕入）高	10.0%	6	原材料（仕入）高	10.7%	6	原材料（仕入）高	10.4%
7	原材料（仕入）高	7.9%	7	賃金上昇	6.5%	7	賃金上昇	8.8%	7	賃金上昇	7.7%
8	環境対応	2.4%	8	環境対応	1.5%	8	環境対応	2.2%	8	設備不足	1.9%
9	その他	2.1%	8	設備不足	1.5%	8	その他	2.2%	9	環境対応	1.1%
10	設備不足	0.9%	10	その他	0.9%	10	金利負担増	0.8%	9	その他	1.1%
11	回収条件の悪化	0.6%	10	回収条件の悪化	0.9%	11	設備不足	0.3%	11	借入れ難	0.8%
11	借入れ難	0.6%	12	金利負担増	0.6%	11	回収条件の悪化	0.3%	12	金利負担増	0.5%
13	金利負担増	0.3%	13	借入れ難	0.0%	11	借入れ難	0.3%	13	設備過剰	0.3%
14	設備過剰	0.0%	13	設備過剰	0.0%	14	設備過剰	0.0%	13	回収条件の悪化	0.3%

### 企業経営動向調査概要

- ① 調査時期：平成29年6月7日～7月4日  
(毎年3・6・9・12月実施)
- ② 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③ 調査方法：景況感についての調査  
前期（平成29年1～3月）と比較した今期（平成29年4～6月）の実績及び今期（平成29年4～6月）と比較した来期（平成29年7～9月）の見通しを調査。
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
- ⑤ 有効回答率：65.6%（有効回答数166社）

### 業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
<b>製造業</b>	<b>86</b>	<b>51.8%</b>
食料品	18	10.8%
繊維製品	10	6.0%
木材・木製品	7	4.2%
化学工業・石油製品	7	4.2%
金属製品	10	6.0%
機械器具	11	6.6%
輸送用機械器具	5	3.0%
その他	18	10.8%
<b>非製造業</b>	<b>80</b>	<b>48.2%</b>
建設業	13	7.8%
卸売業	19	11.4%
小売業	20	12.0%
運輸業	9	5.4%
サービス業 その他	19	11.4%
<b>合計</b>	<b>166</b>	<b>100.0%</b>

(一般財団法人 百十四経済研究所 後藤・中野)